



れきけん ニュースレター

vol.11



- 特集：寿都町「漁場建築佐藤家」で歴まちイベント開催
歴史を活かしたまちづくり <まちの元気をつくる集い>
- 札幌市の歴史的資産活用推進に係る調査検討業務
(2年目)を実施して
- れきけん古希のお祝い会
- お悔やみ・鈴木雅宣さん
- 土別市「大野邸・旧事務所」の相談対応について
- おすすめ・れきけんBook

●特集：寿都町「漁場建築佐藤家」で歴まちイベント開催 歴史を活かしたまちづくり <まちの元気をつくる集い>

2012（平成24）年度からの5か年計画で行われた北海道指定有形文化財「漁場建築佐藤家」の保存整備事業が完了したのを受け、さる3月26日（日）<まちの元気をつくる集い>が開催され、150名ほどの町民が参加されました。

NPOれきけんと寿都町の歴史的建造物との関わりは創立当初より続いており、佐藤家については2013～14年度に「歴史的地域資産を活かした“まちづくり”のための資源調査」、さらに2015年8月には国史跡指定に向けた「旧佐藤家漁場調査報告書」の取りまとめを行い（れきけんニュースvol.06）、その結果、2016年3月1日に「旧歌棄佐藤家漁場」の指定が実現しました（れきけんニュースvol.08）。

寿都町では国史跡指定を受け、2016年度より「歴史文化基本構想」の策定に取り組んでいます。これに関連して、当れきけんは「有戸地区内歴史的資源の保存・活用に関する調査検討業務」を受託しており、今回のイベントはその一環として町の全面協力のもと開催されたものです。

佐藤家での町民参加イベントは、2014年5月に「漁場建築佐藤家から歌棄有戸の歴史を探る」と題した歴史講座が行われていますが、今回は改修後の佐藤家を会場に、町人の皆さんに松前神楽を楽しんでもらい、同時に主屋の内部を覗いてもらうことと、併せて“歴史を活かしたまちづくり”（歴まち）活動の一端を知って頂くという企画のイベントです。

歴まちの活動については、当れきけんの東田理事より寿都町における一連の取組みについて、また寿都高校ボランティア部から、れきけんと協働で行ってきた佐藤家や橋本家の古文書の整理や保存活動などについて報告がありました。

道指定無形民俗文化財「松前神楽」は、毎年7月寿都神社例大祭などで演じられていますが、佐藤家では初めてのこと。町はこの日のために、玄関を入った右手の旧郵便局（20帖）を舞台に仕立て、通土間を挟んで旧チョウバ（16帖）と旧ジョウイ（21帖）、旧イロリ部屋（12帖）を観客席に開放。

舞台は少し狭いようでしたが、小樽ブロック保存会（後志松前神楽会）の皆さんにより、「神楽始め」から「福田舞」「二羽散米舞」「三番叟舞」「翁舞」「注連払舞」と続き、最後の「獅子舞」まで1時間を超える熱演で観客を魅了。獅子舞では、ささらを持って現れた猿田彦による観客を引き込んでの演舞に大歓喜でした。松前神楽の後、プログラムには案内のなかった餅まきが行われて会場は大賑わい。町が用意した大量の餅はわずか数分で参加者の手にわたりました。

最後に、主屋内部について自由見学。当日は予定になかった普段未公開の2階などもちゃっかり見て回り、約2時間のイベントを堪能してもらいました。佐藤家の今後の活用を考えるヒントが得られた有意義な企画でした。（石本正明）

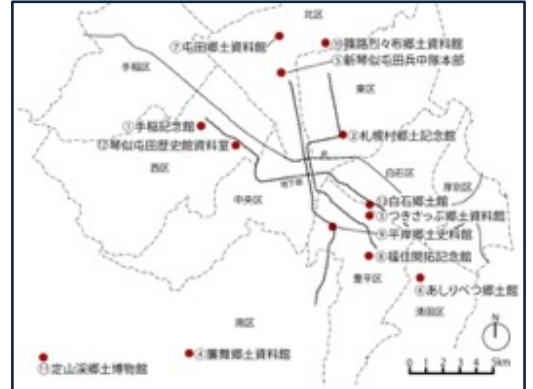


●札幌市の歴史的資産活用推進に係る調査検討業務（2年目）を実施して

れきけんでは、当調査検討業務（札幌市委託）を平成27年度に引き続いて実施し、報告書をまとめた。今回も、平成27年度にまとめた調査手法等に基づき建築物の現況調査を行うとともに、土木構造物と歴史資料の整理を行い、あわせて、その成果が平成29年度より実施予定の「（仮称）札幌市歴史的資産保存活用推進方針」策定の検討素材に資するようにした。

具体的には、歴史的地域資産建築物では平成27年度にまとめたリストの276棟から抽出した119棟の現況調査を行い、将来資産建築物（当法人が独自に命名した資産名称、1970年以降2015年までに建設された建築物）についても、リストの101棟から抽出し、所有者の了承を得た12棟で実施した。なお、現況調査にあたっては、前回同様、市民ベースの視点を持ちかつ専門性を兼ね備えたヘリテージマネージャーとヘリテージコーディネーターの14名の協力を得た。

土木構造物では、橋、トンネルとダムをリスト化した。歴史資料では、郷土資料館（13館）の収蔵品を概説し、資料情報検索の今後にも触れた。まち歩き視点からも、市のウォーキングマップ（44コース）や名所巡りマップ（13コース）に記載の橋と郷土資料館を特記した。（齊藤 徹）



●れきけん古希のお祝い会

去る1月20日、札幌市内の天然温泉付き宿泊施設にれきけんメンバーが集結、1泊の会を催しました。メンバーには今年（2017年）、古希をむかえる方がいます。角幸博代表理事、橋本敏明理事、齊藤徹監事、石本正明監事の4名。改めて年齢を聞くと腰を抜かしそうなほど、いつも精力的に活動されています（平均年齢を押し上げている所以でも…）。そこで、れきけん若手メンバー5名（最若手44！…どのみち平均年齢高め）が、いつも私たちを導いてくださる大先輩たちへの感謝と祝福とエールの気持ちを込めて、古希のお祝い会を企画、開催しました。



普段の会議の後も皆でご飯を食べることが多いのですが、この夜は、やはり特別。もちろん会議はなし、まずは温泉へ！そして、コース料理に舌鼓を打ち、そそくさと2次会へなだれ込み。さまざまな話題を縦横断し、気づけば深夜2時。なんと、誰も離脱していませんでした。れきけんが元気なわけです。70歳おめでとうございます。まだまだ元気で、楽しくやりましょう〜^^（登尾未佳）

●お悔やみ・鈴木雅宣さん

公益財団網走監獄保存財団前理事長の鈴木雅宣（まさのぶ）さんが、2月27日胆管がんで他界された。76歳。3月1日の通夜、2日の告別式に参列した。会場は参列者で溢れるほどであった。博物館施設の登録文化財登録のほか、重要文化財指定にむけて熱い想いを抱かれ、れきけんへ調査報告書の作成を依頼された。鈴木さんは、網走向陽高校（現網走桂陽高校）を卒業後、1960年網走市役所に入り、99年助役、2007年から副市長を務め、2009年6月に財団理事長に就任された。

2016年2月に2件8棟の重要文化財指定を受けた後、体調不良を理由に8月に理事長を辞任、加療中であった。開館初の専任館長を私に託されて、わずか1年でのお別れとなってしまった。れきけんの活動を応援し、信頼もしていただいた。「観光のみならず行刑史や建築史の研究施設にもしたい」という鈴木さんの遺志を継いで館長職を続けることを誓った。合掌（角 幸博）



●士別市「大野邸・旧事務所」の相談対応について

NPOれきけんでは、道内の歴史的・地域資産の所有者等の皆様から、さまざまな相談を受けています。今回はその相談の中から、士別市にある大野邸と旧事務所の保存活用へ向けた取り組みを紹介いたします。この相談は、大野真一郎さんから一本の電話が入ったところから始まります。相談内容は、建物の保存活用をしたいのでアドバイスが欲しいということでした。まずは一度お会いしようとなり、平成29年1月21日にお会いすることになりました。大野さんは、大野土建（株）の副社長で、図面や写真などの手掛かりとなる資料を持参、さまざまな方向から保存活用へ向けた話をしました。例えば、建物の価値や評価、文化財の可能性、耐震を含めた改修工事、活用のアイデア、行政の動き、他の保存活用事例などです。NPOれきけんとしては、大野邸と旧事務所の保存活用へ向けた支援を実施していくことになりました。4月2日には現場へ行き、大野家の皆さまと会食と現地見学をしながら、次のステップへ進む相談を行いまいした。これからの保存活用へ向けた取り組みが楽しみです。



大野邸・旧事務所 外観



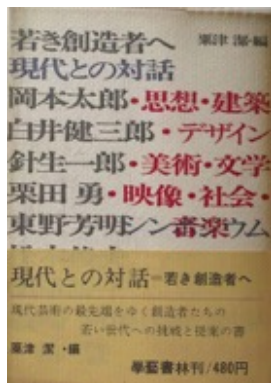
相談対応状況

NPOれきけんへの相談は、行政からだけではなく、所有者やそのご家族、ご親族、ご友人、民間企業などからもあります。相談は、基本的に初回は無料です。どうぞお気軽にご連絡ください。相談内容については、機密情報が含まれていることが多いため、相談者の承諾を得ずに第三者に開示または漏洩することはありませんのでご安心ください。今後の士別市「大野邸・旧事務所」の動きについても、ぜひご注目ください。（東田秀美）

●おすすめ・れきけんBook ～れきけんアーカイブ田上義也蔵書より～



- 生活の美学
- 著:鼓 常良
- 発行所:(株)角川書店



- 現代との対話
一若き創造者へ
- 編集:粟津 潔
- 発行所:(株)学芸書林



- Le Corbusier
- 翻訳:浜口 隆一
- 発行所:
ル・コルビジエ展



- BRUNO TAUT EIN
WOHN HAUS
- 著:FRANCKH'SCHE
VERLAGS
- 発行所:W.KELLER&
CO.STUTTGART



- アイヌ語入門
- 著:知里真志保
- 発行所:楡書房

平成29年度 ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座の受講生募集！！

一般社団法人北海道建築士会、北海道文化財保護協会、NPOれきけんの3団体で構成する北海道文化遺産活用活性化実行委員会は、平成26年度からヘリテージ・マネジメント専門職育成講座に取り組みできました。平成29年度も受講生の募集を開始いたしましたのでお知らせします。

- 申し込み締め切り：平成29年6月12日（月）
- 詳細：<http://hjm.jp.com/?p=555>